

所属ゼミ	小林 研究会	学籍番号	89829017	氏名	渡部 典子
(論文題名)					
エレクトロニクス業界における特許戦略					
(内容の要旨)					
<p>技術変化や環境変化により、研究開発にも経済的側面が強調される時代になり、知的財産権、特に特許の重要性が叫ばれる一方で、その制度的限界も露呈している。本論文はそうした状況下で、企業が持続可能な競争優位を確立する際に、特許の役割を分析し、特許をどのように最大活用すべきかを論じたものである。</p> <p>研究方法としては、文献研究と事例研究を用いた。一、二章で特許制度の現状を分析し、過去の理論研究を明らかにした後、特許の利用法に関して「排他的独占権」「リスク管理」「情報利用」「R&amp;D マネジメント」という四つの視点を打ち出した。それをもとに三章で、仮説を構築し、エレクトロニクス企業 5 社の知的財産部に対してインタビュー調査を行った。</p> <p>四章で事例研究を行い、五章でその結果を分析し、仮説との関連を検証した。四つの利用法およびその相関関係は、実務の現場でも実際に機能していたが、その実践において企業差が認められることが明らかになった。「排他的独占権」には四タイプの基本方針があること、「リスク管理」では基本戦略によって資源投入方針が異なっていることが明らかになった。「情報利用」や「R&amp;D マネジメント」においても特許の重要性が十分に認識されていた。さらに六章で、5 社の特許戦略における強みと弱みを明らかにし、5 社および他のエレクトロニクス関連の企業に対する戦略提言として、特許の利用法をめぐるフレームワークを有効に機能させる条件を提示した。</p>					